

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 23 2011. 3. 30 15:15 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

◇松島センター 本日水道が復旧しました！◇

＝現地対策本部より＝みんな元気に頑張っています！本日 11 時 30 分、水道が復旧しました！これでライフラインは基本的に復旧しました。

松島診療所も1Fの診察に加えて、2Fでデイケアを開始しました。泥もトラックが入って除去し、きれいになりました。山形の支援部隊は被災地の安否確認に行っております。

支援に来る方は、自分のシーツ、枕などをご用意ください。環境は少しずつ整いつつありますが、支援者の滞在中の物資は支援者自らが責任を持つという原則でお願いします。

自分にしかできない医療を～被災地の郷里で医療支援！

東京民医連・中野共立病院の山本英司医師は、今回の津波で壊滅的被害を受けた宮古市田老地区の出身。親戚の安否確認も十分できない中、「地元を知る自分でなければできない医療がある」と、現場にかけつけ、地元避難所の初期診療に貢献しています。子どもの頃の山本医師を知っている被災者の方も多く、「知っている人だから心を許せる。ほっとした。」と感謝されています。（☆岩手日報 3/28 付の記事で紹介されました。詳しくは添付ファイルをご覧ください。）

東日本大震災の被災者への医療、介護・福祉サービスの提供に関する要望書 提出しました！

全日本民医連は、すべての被災者に医療、介護・福祉サービスを切れ目なく提供するために、3月29日に7点にわたる要望書を提出しました。全日本民医連 HP(東日本大震災>対策本部情報)にアップしています。

ナターシャ・グジーさんの演奏DVDご活用ください

既に全日本民医連ホームページにアップロード(動画)しておりますナターシャ・グジーさんからのメッセージについては、著作権の関係で肝心の歌と演奏の部分を届けることが出来ておりません。そのため、別途、演奏DVDを被災地ならびに各県連に一部、無料で発送致します(3月29日付ア号通達428号でご案内しています)。自らもチェルノブイリ原発事故で被災された経験のあるナターシャさんのご好意によるものです。大いにご活用下さい。

<情報提供> 日本医師会 東北地方太平洋沖地震:情報提供第18報
およびJMAT申込書を送ります。(添付ファイルをご覧ください)

支援者到達(30日現在):1275人(医師245人、看護師386人、事務361人)!
本日の支援者数は219人!延べ数は5,575人となりました!
支援募金:7,300万円突破!

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。